

2018 年 2 月 13 日

イオン琉球株式会社



イオン具志川店

従業員 250 名が『認知症サポーター養成講座』を受講します

イオン琉球(株) (本社：南風原町、代表取締役社長：佐方 圭二) は、従業員が認知症を正しく理解し、多くのお客さまが快適にお買い物を楽しんでいただける店舗をめざし、イオン具志川店従業員 250 名が 2 月 16 日 (金) より「認知症サポーター養成講座」を受講します。

イオングループでは 2007 年より、厚生労働省と NPO 法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働で推進している認知症の取り組み (※別紙ご参照) に参画してきました。以来、従業員向けにこの講座を開き、認知症サポーター (受講者) の養成や講師 (企業内キャラバン・メイト) の育成を図っており、サポーター数は 2018 年 1 月現在で企業としては国内最大規模の累計約 67,000 人となっております。

全国の各店舗が地域包括支援センターをはじめ地方行政と常時連携をすることに加えて、従業員が認知症に関する理解を深め、ホスピタリティ溢れる行動を率先することにより、お客さまに安心してお買い物を楽しんでいただける環境を整えています。

今回、イオン琉球で 3 店舗目となる「認知症サポーター養成講座」では、うるま市役所福祉部介護長寿課 地域支援係さまと連携し、認知症キャラバン・メイトとしてご活動中の講師を招いて行います。

イオンが「地域ケア政策ネットワーク」とともに制作した、小売業に特化したテキスト「認知症サポーター養成講座スーパーマーケット編」を活用し、認知症に関する知識の学習に加え、レジや売場での身近な事例についてロール・プレイングなどにより、認知症のお客さまへどのように接し行動すべきかを学んでいきます。

当社では、今後も認知症の方やご家族をサポートする取り組みを拡大し、地方行政や地域の皆さまとともに、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

【記】

イオン具志川店 「認知症サポーター養成講座」について

1. 日 時 2018 年 2 月 16 日 (金) 10:00～11:00
2. 場 所 イオン具志川店 2 階 会議室 (地図別紙参照)
(うるま市字前原幸崎原 303 TEL: 098-983-6565)
3. 講座内容
 - ①認知症に対する取り組み概要説明
 - ②認知症サポーターの役割とは
 - ③認知症の理解 (認知症の定義、具体例に基づいた症状の説明)
 - ④認知症の方への接し方 (店舗内で起こりうる事例) 等
4. 講 師 安次當 麻紀氏、高良 礼子氏 (認知症キャラバン・メイト)
5. 受 講 者 イオン具志川店従業員 250 名 初回は奥間浩店長含め 20 名予定
(2 月 16 日、19 日、21 日、22 日、26 日の 5 日間で 14 回実施、各 20 名程度)



昨年 3 月イオン那覇で実施の様子

【ご参考】

※「認知症の取り組み」について

“認知症になっても安心して暮らせるまちをめざす”ため、厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働して、「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンを2005年より開始しました。

「認知症サポーター 100万人キャラバン」などの取り組みにより、認知症を正しく理解するための講座

（「認知症サポーター 養成講座」）を開催し、受講者（サポーター）を養成しています。



認知症サポーターのマーク

【会場：イオン具志川店 2階 会議室】

バックルーム入ロスイングドア

